

2020年度

高大連携履修生
募集要項



大東文化大学

板橋校舎
〒175-8571 東京都板橋区高島平 1-9-1

東松山校舎
〒355-8501 埼玉県東松山市岩殿 560

<http://www.daito.ac.jp>

目 次

1	「高大連携履修生」とは	P. 1
2	出願について	P. 1
	1. 受講資格	
	2. 出願書類	
	3. 出願方法	
	4. 出願期間	
	5. 出願先および相談窓口	
	6. 経費	
	7. 履修許可通知	
3	本学の授業および試験等に関すること	P. 2
	1. 授業開講期間および長期休暇期間	
	2. 授業時間	
	3. 本学の試験	
	4. 本学施設の利用	
	5. 受講に関する注意	
4	2020年度 高大連携履修生開講科目一覧	
	1. 板橋校舎開講科目	P. 3
	2. 東松山校舎開講科目	P. 3

1 「高大連携履修生」とは

高大連携履修生とは、高等学校の生徒（以下、「生徒」と称す）にあつては、学校外学修において大学水準の教育を体験する機会が提供されることによる学問に対する関心や探究心の高揚に資すること、一方、大東文化大学（以下、「本学」と称す）にあつては、教育の活性化を図ることをそれぞれ目的として本学の授業科目の受講を許可された生徒のことを指します。高大連携履修生は、高等学校との間に締結されている覚書により、所属高等学校の校則を遵守するのはもちろんのこと、本学の学則を遵守することも義務づけられます。

現在、本学と高大連携に関する覚書を締結しているのは「大東文化大学第一高等学校」、「東京都立板橋有徳高等学校」、「保善高等学校」、「埼玉県立松山女子高等学校」、「埼玉県立鴻巣高等学校」、「埼玉県立鴻巣女子高等学校」、「埼玉県立吹上秋桜高等学校」および「埼玉県立桶川西高等学校」の8校(*)があります。 (*) 2020年3月現在

2 出願について

1. 受講資格

所属高等学校の許可があれば、誰でも受講資格があります。詳細は所属高等学校で確認してください。

2. 出願書類

出願は所定用紙を本学までお送りください。所定用紙は各高校にお送りしています。

① 高大連携履修生出願票 **様式1**

② 写真台帳（所定用紙）…………… 顔写真（たて4cm×よこ3cm）1枚貼付 注）指定サイズ以外は不可

3. 出願方法

本学では、1年間を前期（4月1日～9月15日）および後期（9月16日～翌年3月31日）の2つの学期に分け、前期期間のみ開講される授業科目のことを「前期科目」、後期期間のみ開講される授業科目のことを「後期科目」、1年間を通して開講される科目のことを「通年科目」とそれぞれ呼んでいますが、いずれの授業科目も年度始め（所定の出願期間）に一括して申込むこととなります。

まず受講できる科目を一覧表（本書P. 3参照）で確認し、次にシラバス（授業計画）もよく読んでうえて、受講したい科目を決めてください。その科目について高大連携履修生出願票 **様式1** に記入し、写真台帳と一緒に所属の高等学校の担当の先生に提出してください。

なお、複数科目の受講が可能ですが、開講曜日・時限・開講期間が同一の場合はいずれか1科目となります。

高等学校の先生へ（お願い）：

出願書類につきましては、誠に勝手ながら御校にてお取りまとめのうえ、一括してご出願いただきたくよろしくお願い申し上げます。

4. 出願期間

2020年3月13日（金）～2020年3月27日（金）（※本学必着）ですが、高等学校側独自で出願の締切り日が決められている場合があります。

5. 出願先および相談窓口

相談窓口：文学部事務室（板橋校舎／Tel：03-5399-7324）月～金 9：00～17：00
土 9：00～12：00

出願先：〒175-8571 板橋区高島平1-9-1 大東文化大学 文学部事務室宛

※東松山校舎開講科目のご申請も上記宛先に出願書類のご送付をお願いいたします。

6. 経費

受講料は免除されます。ただし、教材費等については自己負担となる場合があります。

7. 履修許可通知

出願の際、書類等に不備がなければそのまま履修が許可されます。なお、後日高大連携履修生証が交付されます。高大連携履修生証は、本学の高大連携履修生としての身分証明証となっているばかりでなく、図書館の利用や授業の出欠管理などになくてはならないものです。本学に通学の際は必ず携帯してください。

3 本学の授業および試験等に関すること

1. 授業開講期間および長期休暇期間(板橋・東松山両校舎共通)

	前期	後期
授業開講期間	2020年4月8日(水)～ 2020年7月14日(火)	2020年9月16日(水)～ 2021年1月20日(水)
長期休暇期間	2020年7月24日(金)～ 2020年9月15日(火)	2020年12月23日(水)～ 2021年1月7日(木)

※祝日であっても通常通り授業を行う日があります。「2020年度学年暦」を参照してください。

2. 授業時間(板橋・東松山両校舎共通)

1時限	9:10～10:40	3時限	13:15～14:45
2時限	10:55～12:25	4時限	15:00～16:30
昼休み	12:25～13:15	5時限	16:45～18:15

3. 本学の試験

次のとおり、前期および後期の学期末にはそれぞれ原則として試験が実施されますが、所属高等学校の行事と本学の試験が重なったときは、高等学校の行事を優先してください。ただし、受験しなかった場合の単位認定は難しくなります。

① 定期試験期間(板橋・東松山両校舎共通)

前期定期試験期間	後期定期試験期間
2020年7月15日(水)～ 2020年7月22日(水) ※予備日 7月24日(木)	2021年1月21日(木)～ 2021年1月28日(木) ※予備日 1月29日(金)

※受講科目によっては上記期間以外の授業中に試験が行われたり、レポートの提出が求められたりすることもあります。

② 定期試験時間(板橋・東松山両校舎共通)

授業時間とは異なっています。時間を間違えると、定期試験の受験はできなくなりますので、十分注意してください。

1時限	9:30～10:30	4時限	14:00～15:00
2時限	10:50～11:50	5時限	15:20～16:20
3時限	12:40～13:40		

4. 本学施設の利用 履修期間中は本学の図書館・食堂等の施設を利用することができます。

5. 受講に関する注意

- ① 受講の際には、「高大連携履修生証」を必ず持参してください。
- ② 東武練馬駅・高坂駅(東武東上線)から出ているスクールバスを無料で、鴻巣駅(高崎線)から出ているスクールバスを片道100円で、久喜駅(宇都宮線・東武伊勢崎線)から出ているスクールバスを片道200円で利用できます。
- ③ 休講(＝事故等で交通機関が不通となったり担当教員の都合により授業が行われなくなったりすること)の連絡やスクールバス運行時刻表等は、本学のホームページ等で各自確認してください。⇒ <http://www.daito.ac.jp/>

4 2020年度 高大連携履修生開講科目一覧

1. 板橋校舎開講科目

学部	曜日	時限	学期	科目名	担当教員
文学部	月	3	前期	フランス語初級1A	ラモン アントワーズ
	月	3	後期	フランス語初級1B	ラモン アントワーズ
	火	4	前期	英米小説と批評A	和泉 邦子
	火	4	後期	英米小説と批評B	和泉 邦子
	水	4	前期	アメリカ文化論A	日野原 慶
	水	4	後期	アメリカ文化論B	日野原 慶
	木	4	前期	英米文学とキリスト教A	氏家 理恵
	木	4	後期	英米文学とキリスト教B	氏家 理恵
	木	4	前期	英語の歴史A	小池 剛史
	木	4	後期	英語の歴史B	小池 剛史
	木	5	前期	ウェールズの文化とことばA	小池 剛史
	木	5	後期	ウェールズの文化とことばB	小池 剛史
	木	5	前期	ドイツ語初級1A	シュミット ディータ
	木	5	後期	ドイツ語初級1B	シュミット ディータ
	金	4	前期	文学と精神分析A	生駒 久美
	金	4	後期	文学と精神分析B	生駒 久美
経済学部	火	2	前期	財政・公共経済特論（地方財政A）	菅野 早紀
	火	2	後期	財政・公共経済特論（地方財政B）	菅野 早紀
	水	4	前期	現代社会の諸問題（生協社会論）	中村 年春
	木	4	前期	キャリア特別講座（日本の企業社会A）	中村 年春
	木	4	後期	キャリア特別講座（日本の企業社会B）	中村 年春
学部 経営	木	4	前期	企業と経営者A	国府 俊一郎
	木	4	後期	企業と経営者B	国府 俊一郎
学部 環境創造	火	5	前期	環境経営Ⅰ	鶴田 佳史
	火	5	後期	環境経営Ⅱ	鶴田 佳史

2. 東松山校舎開講科目

学部	曜日	時限	学期	科目名	担当教員
国際関係学部	月	4	前期	東南アジア地域研究3（東南アジア経済とグローバル化）	遠藤 元
	月	4	後期	東南アジア地域研究4（東南アジアの暮らしと経済）	遠藤 元
	木	4	前期	比較文化特殊講義（現代社会の宗教とスピリチュアリティA）	小尾 淳
	木	4	後期	比較文化特殊講義（現代社会の宗教とスピリチュアリティB）	小尾 淳
	金	4	前期	東南アジア地域研究5（東南アジア近代史）	中野 亜里
	金	4	後期	東南アジア地域研究6（東南アジア現代史）	中野 亜里
	金	4	前期	南アジア地域研究9（シルクロード文化論）	勝木 言一郎
	金	4	後期	文化財マネジメントⅠ	勝木 言一郎
	金	5	前期	仏教文化論A	勝木 言一郎
	金	5	後期	仏教文化論B	勝木 言一郎